

team ふくのね 挑戦記

～北陸新幹線

福井開業をチャンスに～



第二回

体験事業の拡大を目指し、
テストマーケティング

エイトリボン

工場長

松川 享正 さん



Q. お会社と体験プランの概要について教えてください。

当社は機織りの町・丸岡でリボン工場を営んでいます。繊細な模様を表現できるチロルリボンを製造しており、量産できる工場としては国内最後ともいわれています。ふくのねでは、チロルリボンの工場見学とリボンで作るバジジづくり体験を提供しています。参加者の客層としては、子連れ家族や手芸好きの方が多いです。

Q. ふくのねに参加しようと思ったきっかけは何ですか？

体験事業を試験的に行っているという



踏み台を使って機械を動かします

と想っていたタイミングで参加しました。また、6年前に体験場所となっていた今の工場の経営を引き継いだのですが、そのときから、人々呼べる場所だと感じていたので、リノベーションをしてこちらで体験を提供しています。

Q. プランはどのように作られていますか？また、その際に工夫しているところを教えてください。

プランは日々改善しています。先日、整経という工程で使われる機械に興味を示したお客様がいらっしやっただので、足で踏んで機械を動かす体験をしてみました。それが思いのほか好評で、以来プランに組み込むようにしています。今後もう少し体験要素を増やしていきたいですね。

Q. やってみていかがでしたか？

生産スケジュールとの調整が必要な部分があるので、事前に各工程の担当者に体験の日程を伝えたり、会議の場で全体に共有したりしています。見学のルートを作り、生産に影響が出ない体制づくりが必要かなと感じています。

Q. 最後にこれからの展望について教えてください。

今後は、体験日を増やしていきたいと思っています。現状、私のみ対応できる状態で、社員の教育を進めているところです。また以前、産業観光で有名なとある県外の企業に訪問した際に、ブルートゥースイヤホンをお客様に配り、工場見学をしていることを知りました。工場だとうしても、機械の音が大きかったり、見学の人数が多かったりして、案内員の説明が聞きづらいことが多いです。そうした設備面も整えていく予定です。徐々に手ごたえも感じてきているところなので、さらに体験事業を拡大していきたいです。

ふくのねとは…

北陸新幹線県内延伸に向け、県外観光客をもてなすことを目的に多数準備された体験プログラムのことを指します。

詳細は…

福井商工会議所 地域事業・観光振興課

0776-33-8253



HP



インスタ



FB